

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

腎代替療法選択ガイド 2020

日本腎臓学会、日本透析医学会、日本腹膜透析医学会、日本臨床腎移植学会、日本小児腎臓病学会（委員長：猪阪善隆 大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学、酒井謙 東邦大学医学部腎臓学講座、伊藤恭彦 愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科、西慎一 神戸大学大学院腎臓内科、服部元史 東京女子医科大学腎臓小児科）

ライフサイエンス出版、2020年9月10日 第1刷発行

https://cdn.jsn.or.jp/data/rrt_guide_2020.pdf

■1 漢方薬

疾患：

腹膜透析開始後の注意事項

副作用に関する記載ないしその要約：

『Q17 腹膜透析を始めた後は、日常生活で注意することはありますか』の項に、下記の記載がある。

『解説：腹膜透析開始後は、保存期のときと同様に、食事や薬の服用が重要です。市販薬や健康食品・サプリメント・漢方薬（茶）は自己判断で服用しないようにします。』